

5月1日 扇の日・恋の日キャンペーン

平成の姫君をさがしています



「扇」の持つ多彩な魅力を

雅やかな「三船祭」参加で

あなたも体験しませんか。

王朝絵巻さながらに京都嵐山に繰り広げられる「三船祭」
そのハイライト「扇流し」に平成の姫君として
ご参加くださる女性を募集しています。

- 主催 京都扇子団扇商工協同組合
- 後援 近畿経済産業局・京都府・京都市
(財)伝統的工芸品産業振興協会
(財)平安建都1200年記念協会
(株)京都産業振興センター「京都館」東京・赤坂
@Station
- 衣裳協力 西陣織工業組合

募集の要項

● 応募資格

平成17年5月15日(日)三船祭に参加出来る女性に限ります。

*平安時代の装束(十二単) 2名

*振り袖の姫君 10名

(衣裳はこちらで準備いたします。

肌じゅばん・裾よけ・足袋・履物は各自でご準備下さい)

● 応募方法

官製はがきに必要事項をご記入の上、組合にご応募願います。

● 必要事項

*氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・電話番号・生年月日・年齢・職業・身長

*未成年者のご応募の場合、保護者同意が必要ですので、応募ハガキに捺印してください。

*このイベントを何でお知りになりましたか?・新聞・ラジオ・募集広告(チラシ)・その他()

*簡単な自己PR

*扇子・うちわに関するご意見(何でも結構です)

*申込み多数の場合は抽選。

当落は直接ご通知致します。

*尚、装束着付け上の問題等から十二単の方は書類選考させていただきます。

*十二単のみご希望の方はその旨をご記入下さい。

● 送り先

〒606-8343

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1
京都市勤業館内 KYOオフィス

京都扇子団扇商工協同組合

TEL075-761-3572 FAX075-761-3573

受付時間 午前10時~午後5時

(土・日・祝日を除く)

● 締め切り

平成17年4月22日<消印有効>

● 発表

平成17年4月28日

*発表は、参加確認のため当選者に発表日に電話連絡いたします。

*当選の連絡は、発表日の電話のみとさせていただきますので、必要事項にご記入の際には、発表日に参加確認のできる電話番号をご記入ください。

● 応募のきまり

*当日は現地集合・解散とし、交通費自己負担となります。

(小雨決行)

*詳しい時間は又お知らせします。

*当日は、午前10時集合・午後1時から4時まで祭り参加。

*記念品・写真等を差し上げます。

車折神社の三船祭と扇流し

くるまざき ●車折神社の御祭神は清原頼業公。清原頼業公は、天武天皇の皇子舍人親王の子孫で、平安時代末期の儒学者、明経博士であり、博学で知られていました。

くるまざき ●また、車折神社の境内末社の一つに芸能神社があり、映画、演劇、和洋舞・茶道・華道・詩歌・俳諧・絵画・彫刻・陶芸・音楽等の租神おもてのうすめのみこと・天宇受売命をお祀りしています。

くわんざん ●三船祭は、5月の第3日曜日に行われる王朝の雅を伝えるお祭で、平安時代に名勝嵐山・大堰川で行われた船遊びを再現したものです。

じょうたい ●898年〈昌泰元年9月〉宇多上皇が、大堰川で、「詩歌管弦」の優雅な船遊びをされた記録が残っていますが、これを再現。嵐山に船を浮かべて各船が諸芸（献茶、献花、琴、謡曲、尺八、俳諧、書画など）を王朝絵巻さながらに、奉納します。

●扇流しは、そのハイライトとも言うべきもので、足利將軍の故事にちなみ、流扇船に積まれた扇を流し、奉納者の芸能の上達などを願うものです。嵐山・渡月橋上流で、午後2時より4時まで流します。

●本年全国的に、この流扇船に乗り込み、「扇流し」に参加して頂ける女性を募集するに当たり、京都扇子団扇商工協同組合では、扇流しにふさわしい特製のオリジナル扇「五色の扇・うちわ」を製作しました。

●流扇船に乗り込むのは、十二ひとえの姫君と振り袖の女性です。
十二ひとえ・振り袖の着装及び指導は、きもの研究家で国内はもとより海外でもたびたび、十二ひとえ等の紹介をされておられる 毛利ゆき子先生に依頼しました。

